

塩野直道賞

中学校の部

折り紙で新しいくす玉を作る～多面体との関係性～

埼玉県 埼玉大学教育学部附属中学校 2 年 宝珠山 理歩

講 評

ユニット折り紙から作るくす玉について、その構造を数学的に考察した優れた作品です。実際にくす玉を制作したり、Geoshapes（ジオシェイプス）というツールを組み立てたりして、さまざまな多面体を丁寧に調べており、粘り強く取り組んでいます。折り紙は、日本の誇るべき伝統文化の一つですが、折り紙の国際学会が設立されて研究大会が開かれたり、オリガミクスという言葉ができていたりして、たいへん注目されています。レポートにも書かれています。凸という条件を外してくす玉を組み立ててみるなど、仕組みの分析を続けていってほしいと思います。

中央審査委員会